岩手県 平成25年の教育旅行客・外国人観光客

学校数・児童生徒数は震災前を上回る数字に

調査データ

外客入り込み前年比41%増

全体的に回復基調続く

岩手県商工労働観光部観光課はこのほど、昨年1年間（平成25年1～12月）の教育旅行客、外国人観光客の入り込み動向を「いわての観光統計」として発表した。それによると、教育旅行客の入り込みは学校数が延べ3055校で、前年比6・7%減少（219校減）。児童生徒数は20万2023人回で、同0・3%増加（505人回増）した。東日本大震災・津波発災前の平成22年をいずれも上回る数字となっている。

一方、外国人観光客の入り込みは6万6119人回で、前年比41・2%増加（1万9278人回増）。「震災、津波、放射能汚染に対する不安による東北地方を中心とした訪日旅行敬遠の状況が改善されつつあり、「国・地域によって差はあるものの全体としての入り込みは回復してきている」。

■教育旅行客

校種別の入り込み割合は、多い順に、中学校47・5%、小学校27・8%、高等学校19・4%。

発地別では、多い順に、東北地方55・5%、北海道22・5%、関東地方16・2%、近畿地方3・9%となっている。

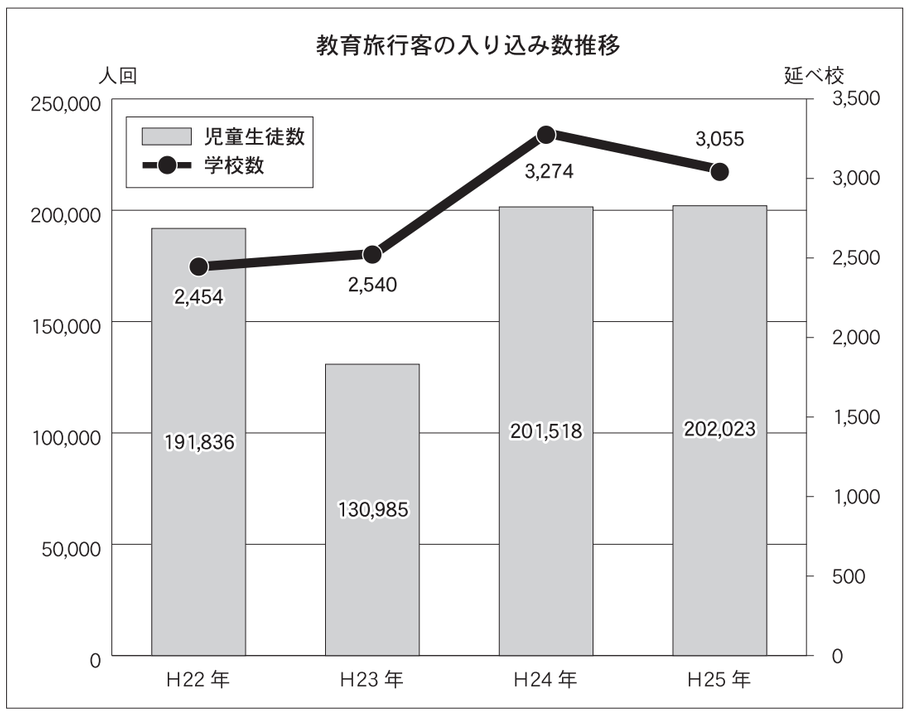
北海道と近畿地方からの入り込み数が着実に回復してきており（北海道前年比165・8%増、近畿地方同355・0%増）、全体としては、東日本大震災・津波発災前の状況（校種別で中学校が全体の約7割、発地別で北海道が全体の約4割）に戻りつつある。

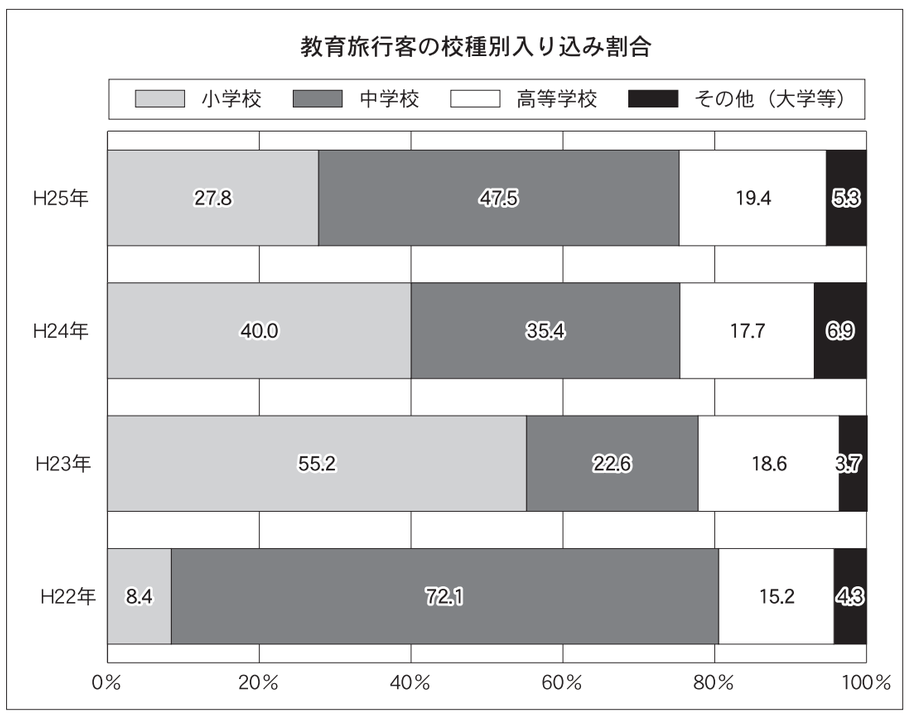
■外国人観光客

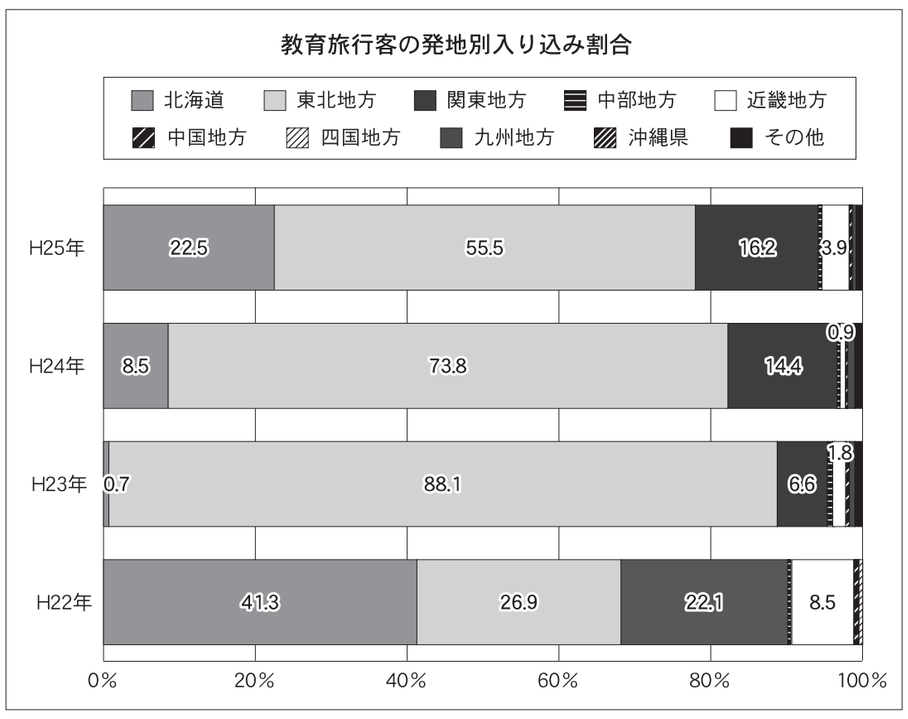
発地別入り込み割合は、多い順に、台湾55・1%、香港7・8%、中国6・6%、韓国6・0%、オーストラリア1・7%となっている。

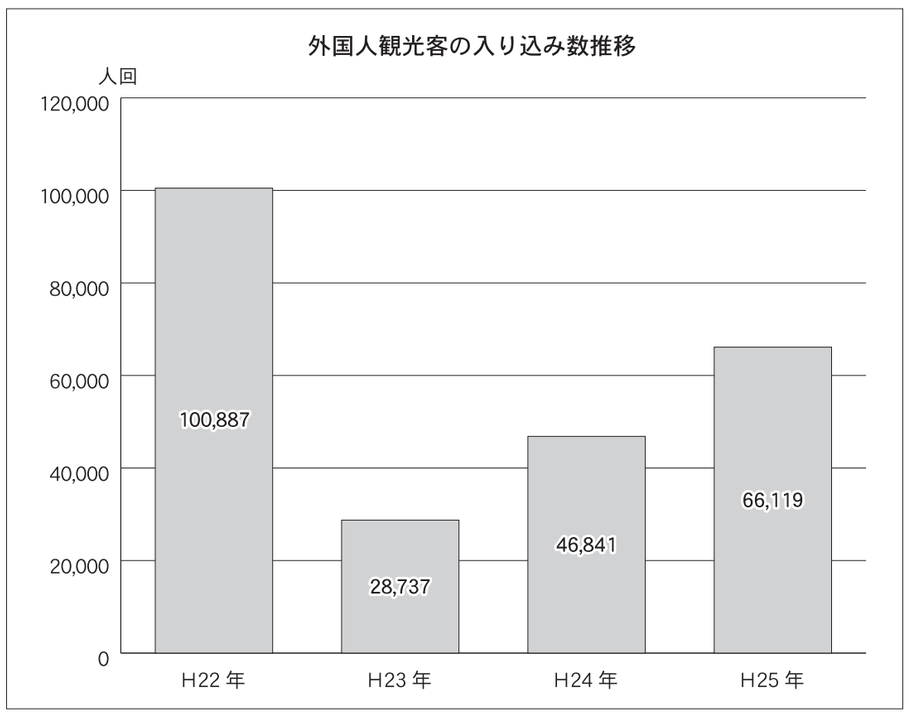
前年比では、台湾が70・0%増、香港が85・8%増、中国が6・0%増、韓国が33・2%増など。

市町村別入り込み割合は、多い順に、八幡平市24・0%、花巻市17・8%、平泉町14・3%、雫石町14・3%、盛岡市11・1%など。

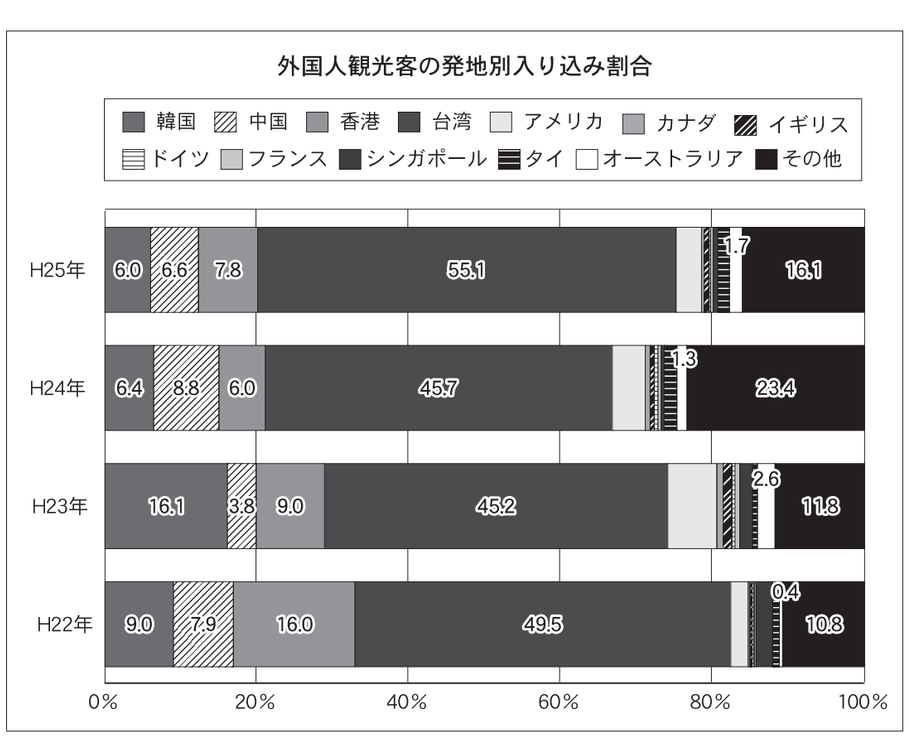
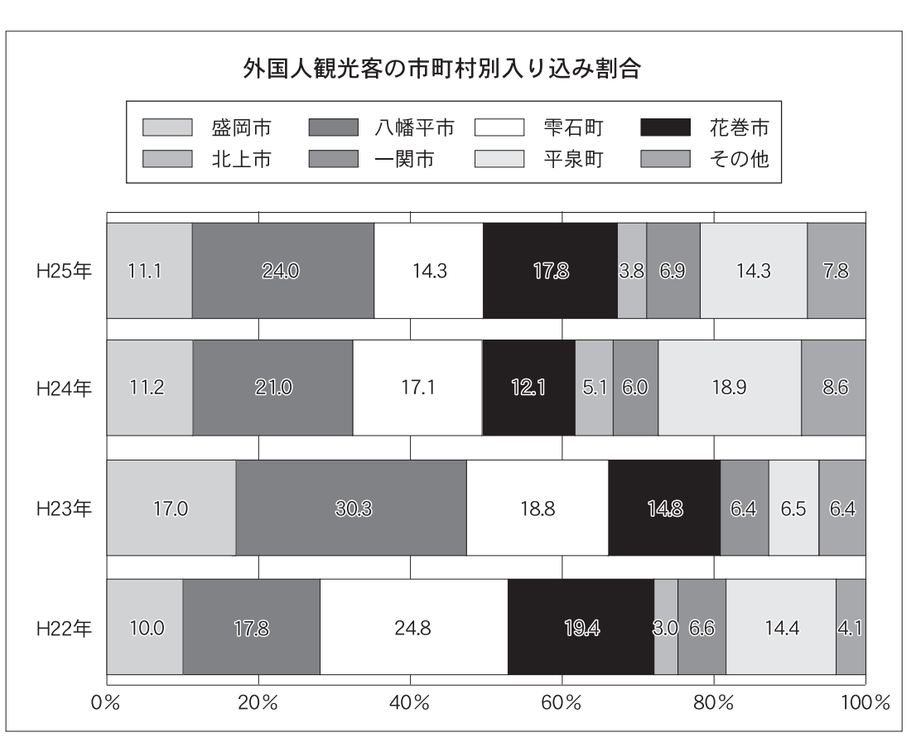








外国人観光客四半期別入り込み推計表

（単位：人回、%）

国・地域		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合　計	構成比
アジア	韓国	1,977	349	925	718	3,969	6.0
	中国	436	2,889	482	543	4,350	6.6
	香港	1,172	285	409	3,324	5,190	7.8
	台湾	6,465	10,299	4,230	15,411	36,405	55.1
北米	アメリカ	234	677	682	422	2,015	3.0
	カナダ	8	56	66	97	227	0.3
ヨーロッパ	イギリス	28	84	155	149	416	0.6
	ドイツ	33	37	49	53	172	0.3
	フランス	28	44	49	45	166	0.3
東南アジア	シンガポール	132	124	30	88	374	0.6
	タイ	124	48	97	775	1,044	1.6
オセアニア	オーストラリア	833	63	58	168	1,122	1.7
その他		2,748	3,082	2,476	2,363	10,669	16.1
合計		14,218	18,037	9,708	24,156	66,119	100.0